

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有		
教育学部	教授	竹内 亮				
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日（期間）	概要			
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）						
大阪府忠岡町介護予防事業「お元いきいき教室」における学生ボランティアによる運動指導		平成24年11月2日～令和2年3月6日	町内在住高齢者（一次及び二次予防事業対象者）に対する運動器の機能向上（転倒・膝痛・腰痛予防）、日常生活動作の再学習及びニュースポーツの体験を目的に開催された教室で、学生が運動プログラム内容の一部を指導した。これにより、学生における現場での指導の機会を多く持つことができ、後の教育実習等につなげていけるような仕組みづくりを構築した。			
通所介護施設における学生ボランティアによる運動指導		平成24年11月13日～平成30年2月7日	大学近隣の通所介護施設（デイサービス）に通う高齢者（要支援・要介護）に対して、施設職員が1時間程度の集団体操を実施している。今回、「スポーツ福祉指導法（高齢者）」の授業の一環として、学外授業という形でこの集団体操を学生が主体となって6回実施した。これにより、学生が運動指導の進め方を実践的に学ぶ機会を得ることができ、後の教育実習等につなげていけるような仕組みづくりを構築した。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
上級障害者スポーツ指導員養成講習会講師		平成29年8月28日～令和元年8月31日	日本障害者スポーツ協会主催の指導員養成講習会において、「高齢者とスポーツ」の講義を担当した。参加者は、初・中級障害者スポーツ指導員で実務経験を有する者であった。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書（単著）						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書（共著・分担執筆）						
題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
イラスト アダプテッド・スポーツ概論	植木章三, 竹内亮, 他10名	148頁～158頁	東京教学社	東京	令和元年9月	
原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
成人脳性麻痺者における自主的トレーニング介入による歩行能力および身体機能の変化—3軸加速度センサーを用いた評価による事例研究—	◎竹内亮, 吉塚亮一, 岸本早生里	アダプテッド・スポーツ科学	第15巻	21頁～28頁	平成29年7月	
地域在住高齢者における歩行時の身体動揺に関連する要因について	◎竹内亮, 植木章三, 上出直人, 高戸仁郎, 金子勝司, 陳洋明, 曾根裕二, 安田友紀, 萩野浩明, 小川晃子, 芳賀博	大阪体育大学教育学研究	第2巻	1頁～11頁	平成30年3月	
片麻痺を有する槍投げ選手における技能向上に関する事例的研究—大学との連携を通じたスポーツ活動の試み—	◎竹内亮, 丸谷賢弘	大阪体育大学教育学研究	第4巻	79頁～89頁	令和2年3月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）						
区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国際	平成28年7月	14th International Conference of Asian Society for Adapted Physical Education and Exercise	The change in gait ability and physical function following a balance exercise intervention in a person with physical disabilities. -A case study as assessed by tri-axial acceleration sensor-	Deagu, Korea	◎Ryo Takeuchi, Ryoichi Yoshizuka, Saori Kishimoto	
国内（一般演題）	平成28年12月	第21回日本アダプテッド体育・スポーツ学会	特別支援学校におけるスポーツ活動中の外傷および熱中症発症状況と安全管理体制との関係	日本体育大学	◎竹内亮, 植木章三, 岩岡研典, 金山千広, 田中信行, 三木由美子, 山崎昌廣	
国内（一般演題）	平成29年12月	第22回日本アダプテッド体育・スポーツ学会	障がい者優先スポーツ施設利用者におけるスポーツ外傷・障害発生の関連要因	早稲田大学	◎竹内亮, 植木章三, 岩岡研典, 金山千広, 田中信行, 三木由美子, 山崎昌廣	

国際	平成30年7月	15th International Conference of Asian Society for Adapted Physical Education and Exercise	Variables affecting injuries among athletes who participated in the National Sports Festival for People with Disabilities 2017 in Japan□	Kuala Lumpur, Malaysia	©Ryo Takeuchi, Shouzoh Ueki, Kensuke Iwaoka, Chihiro Kanayama, Nobuyuki Tanaka, Yumiko Miki, Masahiro Yamasaki
国内(一般演題)	平成30年11月	日本生涯スポーツ学会第20回大会	肢体不自由者におけるアダプテッド・スポーツ実施の検討 -陸上競技(投擲)の技能向上に向けた事例報告-	名桜大学	竹内亮
国際	令和元年6月	The 22nd International Symposium of Adapted Physical Activity	Variables Affecting Heat Stroke among The Users of Priority Sports Facilities for People with Disabilities in Japan	Virginia, America	©Ryo Takeuchi, Shouzoh Ueki, Kensuke Iwaoka, Chihiro Kanayama, Nobuyuki Tanaka, Yumiko Miki, Masahiro Yamasaki

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
科学研究費	基盤研究(C)	アダプテッド・スポーツ実施者のスポーツ外傷・障害に関する調査研究	代表	平成27~29年度	481万円

特許

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

### Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成26年12月~平成28年12月	日本アダプテッド体育・スポーツ学会理事
平成27年4月~平成29年3月	日本体育学会アダプテッド・スポーツ科学専門領域評議員
平成27年11月~現在	日本生涯スポーツ学会理事
令和2年12月7日~8日	日本アダプテッド体育・スポーツ学会第24回大会実行委員長
社会的活動	
平成28年6月~現在	堺市健康福祉プラザスポーツセンター運営委員会委員
平成29年4月~現在	社会福祉法人親光会評議員
平成31年4月~現在	兵庫マスターズ陸上競技連盟理事

### Ⅳ 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
平成26年4月~平成30年3月	健康福祉学部研究委員会委員長・紀要部会長
平成31年4月~現在	教育学部研究委員会委員長・紀要部会長
平成31年4月~現在	教育学部国際地域交流委員会委員長
特別プロジェクト活動	

### Ⅴ クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	部	2. 役職	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない			
5. 合宿指導	年間合宿回数:	回	延べ日数:	日
6. クラブの競技力向上への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
8. 部員の就職指導への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない			
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所	
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)	開催期間	大会名	成 績	場 所

**VI 賞罰（職務に関する賞罰）**

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考